

牛の血液型について



毎日さまざまな性格の牛に出会っておりますが、ふと牛にも血液型はあるのかなと思い調べてみました。既にご存知の方も多くいらっしゃるかもしれませんが、想像をはるかに越えて大変複雑なことが判明いたしました。

そもそも血液型とは、血液中の血球に存在する抗原、抗体の種類による分類とのことです。牛の血液型は文献により種類がいくつか異なっているのですが、基本的には A,B,C,Fv,J,L,Su,Z,R`S` の 9 種類の赤血球抗原型の血液型システムがメジャーなようです。血液型システムごとに使用される抗血清数、フェノグループ数、遺伝子型数が異なり、それぞれの組み合わせによりさらに血液型は無限に分かれていきます。人間の血液型も細かく分けて深く掘り下げていくと膨大な数になり、全く同じ血液型の人がいる可能性は低いようです。

人間と牛それぞれ膨大な血液型がありますが、輸血に関しては大きな違いがあります。人間では血液型の一部の分類で自然抗体が形成されており、異なる型の血液が体内に入ると抗原抗体反応(非自己の侵入に対する感染防御機構)が起こり、最悪の場合ショック死が起きます。そのため、輸血の際には適する血液を輸血します。

一方、牛は先天的に同種抗体が存在することは珍しく、たとえ先天的に同種抗体が存在したとしてもその効力が弱いため初回輸血で反応が起こる可能性はとても低いとのことです。しかし、何回か繰り返し輸血をするとそれに対する抗体ができてしまうので、繰り返し輸血をする際には血液の適合検査の実施が必要となります。

結論としては、血液型は奥深いもので単純には語れないということがわかりました。牛の性格と血液型の相関についてはさらに未知の世界です。もっと色々と詳細までお伝えできれば良いのですが、いつかもっと賢くなれたら続編を作成させていただきます。

授精開始まではまだ遠いですが、皆さまのご協力と先生方のご指導により少しずつ前進しております。皆さまご協力いただき本当にありがとうございます！引き続きどうぞよろしくお願い致します！！

柴田

